

パッション (2004)

THE PASSION OF THE CHRIST

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 アメリカ/イタリア

色彩 Color

時間 127分

初公開日 2004/05/01

公開情報 日本ヘラルド映画

映倫 PG-12

【キャッチコピー】

目を背けないでほしい。その瞬間（とき）がくるまで――。

誰も描けなかった、真実ゆえの衝撃。

【解説】

「ブレイブハート」のメル・ギブソンが12年の構想を費やし、私財を投じて撮り上げた壮大な宗教映画。イエス・キリスト最後の12時間と復活を描き世界各地で空前の大ヒットを記録。全編ラテン語とアラム語だけを用い新約聖書の記述を忠実に再現したとされる一方で、ユダヤの描写を巡っては宗教関係者の間に激しい論争を巻き起こした。また、観客にショック死する者も出たという執拗な残酷描写についても賛否が渦巻いた。主演は「シン・レッド・ライン」「モンテ・クリスト伯」のジム・カヴィーゼル。

紀元前700年のエルサレム。ある日、イエスは十二使徒のひとりであるユダの裏切りによって捕らえられる。イエスを尋問した大司祭カイアファは、イエスが自らを救世主であり神の子と認めたとして激怒し、イエスが神を冒瀆したと宣告する。ローマ帝国総督ピラトのもとに身柄を移されたイエスは、そこでも揺るぎない姿勢をみせる。やがて荒れ狂う群衆に気圧され、ピラトはイエスを十字架の刑に処する判決を下す。凄惨な鞭打ちを受け変わり果てた姿となったイエスは、ついに十字架を背負いゴルゴダの丘へと歩を進めた。

【クレジット】

監督	メル・ギブソン	Mel Gibson	
製作	メル・ギブソン	Mel Gibson	
	ブルース・デイヴィ	Bruce Davey	
	スティーヴン・マケヴィティ	Stephen McEveety	
製作総指揮	エンツォ・システィ	Enzo Sisti	
脚本	メル・ギブソン	Mel Gibson	
	ベネディクト・フィッツジェラルド	Benedict Fitzgerald	
撮影	キャレブ・デシャネル	Caleb Deschanel	
編集	ジョン・ライト	John Wright	
音楽	ジョン・デブニー	John Debney	
出演	ジム・カヴィーゼル	Jim Caviezel	イエス・キリスト
	マヤ・モルゲンステルン	Maia Morgenstern	イエスの母マリア
	モニカ・ベルッチ	Monica Bellucci	マグダラのマリア
	ロザリнда・チェレンターノ	Rosalinda Celentano	サタン

クラウディア・ジェリーニ	Claudia Gerini	クラウディア
ルカ・リオネッロ	Luca Lionello	イスカリオテのユダ
フランチェスコ・デ・ヴィート	Francesco De Vito	ペトロ
フリスト・ジフコフ	Hristo Jivkov	ヨハネ
マッティア・スブラージャ	Mattia Sbragia	大祭司カイアファ
フリスト・ナーモフ・ショポフ	Hristo Naumov Shopov	総督ピラト
セルジオ・ルビーニ	Sergio Rubini	ディスマス
トニ・ベルトレッリ	Toni Bertorelli	アンナス